



平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

通所介護

勝原第二デイサービスセンター

平成 30 年度 事業計画

目 標	利用者の『在宅生活の継続』を支援するため、心身の向上を図る。
理 由	最近、様々な理由により、自宅での生活の継続が困難になり、入院されたり、施設に入所されたりして利用を中止される利用者が多く見られる。利用者の意思である『在宅生活の継続』を支援し、自宅において、精神的に豊かな生活を送れるように心身の向上を図るため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の残存機能維持・向上を目的とした機能訓練において上下肢の筋力トレーニング(歩行訓練、ゴム・ボール体操等)に重点を置いて実施する。 2. 利用者が在宅生活を継続する上で自力歩行が続けられるよう転倒防止としてマット運動(体幹を鍛え、転倒防止)を導入する。 3. 利用者が意欲的に生活できるよう、身体機能だけでなく、余暇活動である各種製作や外出支援を計画的及び継続的に実施するため、毎月の職員会議において確認・検証を行う。

平成 30 年度 事業報告

事 業 報 告	<p>機能訓練として、主に歩行時に使用する下肢筋力のトレーニングに重点をおき、取り組んだ。あわせて、マット運動として、日常生活では使用しない臀部や側部の筋力トレーニングなど体幹を鍛えるトレーニングに加えて、床からの起き上がり運動など自宅での生活を意識したメニューを考え、毎回、実施した。機能訓練を通じて、体幹の強化と下肢筋力が増強したことで、利用者やその家族からは起居動作や歩行動作が安定し、自宅での転倒が減ったとの話を聞き、目に見える形で効果が出始めている。</p> <p>また、毎月の職員会議で余暇活動について話し合い、四季折々の野外活動の実施に加えて、事業所内でも盆踊りや縁日、クリスマス会など季節毎の催しを実施したことで、四季が感じられ、多数の利用者から好評の言葉が聞かれた。また、平成 29 年度より取り入れた編み物も利用者同士で編み方に関する情報を交換するなどコミュニケーションの場となり、好評を得ている。</p> <p>総じて、重度化が観られる中、自宅で安心、安全に過ごせ、体調不良以外、休むことなく利用していただけていることは、機能訓練と余暇活動などの取り組みに関する成果と考えられる。</p>
---------	---

事業運営総括

平成 30 年度は介護報酬の改定に伴う提供時間帯の変更に伴う単位数の減算はあったが、年間の稼働率は 86.3%であり、平成 29 年度から目標に掲げていた 85%は上回ることはできた。要因としては、疾病や加齢に伴い要支援から要介護の状態になった利用者が増え、1 週あたりの利用回数が 1~2 回から 2~3 回へと増えたことがあげられる。

その反面、重度化とともに体調を崩しやすく、欠席や利用中止をする利用者も増え、実人数の減員を案じたが、広報活動に加えて、各居宅介護支援事業所と綿密な情報交換を行い、紹介の機会を得たことで、年間で 36 人の方が新規利用している。また、利用実人数も例年に比べ、著しく減ることなく、100 人前後を保つことができた。

利用人数や稼働率は保つことはできたが、車に関する事故が 7 件あり、法人内で行った安全運転研修以降も効果は観られず、発生し続けたことは、残念な結果となり、公用車を運転する職員の資質と安全に対する意識が問われている状況にある。

加えて、配意不足から入浴支援に関する苦情もあったため、室温や湯の温度に留意するなど法人理念である「いたわりと思いやり」を意識した対応も問われている。

総じて、機能訓練と余暇活動などの取り組みに関して、多数の利用者やその家族から好評の言葉を聞いていることを踏まえ、平成 31 年度は、口コミによる新規利用につながるよう新たなレクリエーションを考案し、実行していくことで満足感を高めていくとともにホスピタリティー（もてなす気持ち）を意識し、安らぎや居心地の良さが感じられるように取り組んでいきたい。

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 1.35》

平成31年3月31日 現在

	人数	割合
事業	7	7%
要支援1	11	11%
要支援2	12	12%
要介護1	38	37%
要介護2	21	21%
要介護3	7	7%
要介護4	5	5%
要介護5	1	1%
合計	102	100%

(四捨五入による%の誤差あり)

月間利用実績 (人数)

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	7	8	8	8	8	8	8	8	8	7	6	7	91
要支援1	11	11	10	9	7	7	6	6	7	5	6	11	96
要支援2	20	19	18	19	16	16	17	16	13	14	12	12	192
要介護1	31	30	30	32	31	32	33	36	35	35	36	38	399
要介護2	17	20	21	21	22	23	24	23	25	25	25	21	267
要介護3	10	12	11	9	8	10	7	5	4	7	7	7	97
要介護4	4	4	5	6	5	5	5	4	5	5	5	5	58
要介護5	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	9
合計	101	105	104	105	98	101	101	99	98	98	97	102	1,209

月間利用実績 (延べ人数) 《稼働率 86.3%》

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	40	49	45	45	54	47	54	54	48	40	35	43	554
要支援1	43	42	38	34	27	23	23	25	26	16	23	39	359
要支援2	147	156	129	137	115	113	127	117	86	82	75	85	1,369
要介護1	330	341	349	345	382	316	352	374	348	336	358	425	4,256
要介護2	142	169	176	182	215	211	247	230	228	216	216	215	2,447
要介護3	62	64	69	58	62	80	55	46	33	39	63	70	701
要介護4	55	63	72	68	75	65	73	55	57	55	45	53	736
要介護5	16	15	18	17	14	0	2	10	9	0	0	1	102
合計	835	899	896	886	944	855	933	911	835	784	815	931	10,524

開所日数

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	25	27	26	25	27	24	27	26	24	24	24	26	305

曜日別延べ利用実績

平成30年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	1794	1725	1685	1825	1794	1701	10,524
割合	17%	16%	16%	17%	17%	16%	100%

(四捨五入による%の誤差あり)

1週当り平均利用人員

平成30年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	35.2	34.5	33	35.8	34.5	34	207	34.50
割合	17%	17%	16%	17%	17%	16%	100%	—

回数別利用人員

平成31年3月31日 現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	30	34	22	10	5	1	102
割合	29%	33%	22%	10%	5%	1%	100%

保険者の状況

平成31年3月31日 現在

保険者	男	女	計
姫路市	19	64	83
太子町	6	10	16
たつの市	2	0	2
倉敷市	0	1	1
合計	27	75	102

年齢別構成状況

平成31年3月31日 現在

	65歳未満	65歳以上から70歳未満	70歳以上から75歳未満	75歳以上から80歳未満	80歳以上から85歳未満	85歳以上から90歳未満	90歳以上	合計
男	0	0	3	3	7	7	7	27
女	0	1	4	7	22	18	23	75
全体	0	1	7	10	29	25	30	102

日常生活状況

区 分		実数	割合
歩行	自立歩行	61	59.8%
	杖等の歩行補助器利用	35	34.3%
	車いす利用	6	5.9%
食事	自分で可能	99	97.1%
	一部介助	1	1.0%
	全部介助	2	2.0%
入浴	自分で可能	80	78.4%
	一部介助	19	18.6%
	全部介助	3	2.9%
着替	自分で可能	74	72.5%
	一部介助	25	24.5%
	全部介助	3	2.9%

平成31年3月31日 現在

区 分		実数	割合	
排泄	トイレ	自分で可能	56	54.9%
		介助	25	24.5%
	おむつ使用		2	2.0%
	パッド使用		19	18.6%

対象人数	102
------	-----

(四捨五入による%の誤差あり)

行事報告

	行 事	レクリエーション及び体操
4月	野外活動 ・観桜会（夢前川河川敷、六角公園） ・チューリップ観賞（播磨科学公園） ・芝桜観賞（ヤマサ蒲鉾） ゲーム大会	レクリエーション ・カーリングゲーム ・まっすぐ行ってゴーゲーム 体操 ・メダカの学校・北国の春
5月	野外活動 ・ルピナス観賞（佐用町） 下太田花祭り見学 ゲーム大会	レクリエーション ・バケツ送りゲーム ・鯉のぼり作り 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄
6月	野外活動 ・紫陽花観賞 （世界の梅公園、安志稻荷神社） ゲーム大会	レクリエーション ・アタック 25 ゲーム ・ブリッジストーンゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄
7月	野外活動 ・姫路城見学 ・鹿島神社参拝 七夕会 ゲーム大会	レクリエーション ・バスケットボールゲーム ・ホームランゲーム ・七夕提灯作り 体操 ・メダカの学校・北国の春
8月	野外活動 ・向日葵観賞（佐用町） 第二デイ盆踊り（盆踊り・縁日） ゲーム大会	レクリエーション ・的当て・輪投げ・射的ゲーム ・カーペット点取りゲーム 体操 ・メダカの学校・北国の春
9月	野外活動 ・弥勒寺参拝 岩波右扇会との交流 ゲーム大会	レクリエーション ・中央カーリング ・玉輪引きゲーム ・アタック 25 ゲーム 体操 ・リンゴの唄・北国の春
10月	野外活動 ・コスモス観賞（たつの市） 秋の大運動会 吉備神社（下太田）秋祭り見学 ゲーム大会	レクリエーション ・鍋ゲーム ・ボール運び・玉入れ・棒倒しゲーム 体操 ・リンゴの唄・北国の春

	行 事	レクリエーション及び体操
11月	野外活動 ・紅葉狩り(東山公園) ・菊花展見学(龍野公園) 和太鼓 ゲーム大会	レクリエーション ・中央カーリングゲーム ・お手玉投げゲーム ・まっすぐ行ってゴーゲーム 体操 ・リンゴの唄・北国の春
12月	野外活動 ・干支のわら細工見学(安志稻荷神社) クリスマス会 ゲーム大会	レクリエーション ・変形ボーリングゲーム ・お手玉運びゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄
1月	初詣 ・魚吹八幡神社・総社 書き初め・カルタ取り大会 ゲーム大会 鬼の面作り	レクリエーション ・買い物ゲーム ・伝達ゲーム 体操 ・メダカの学校・北国の春
2月	野外活動 ・梅花観賞 (世界の梅公園、曾根天満宮) 豆まき ゲーム大会	レクリエーション ・伝達ゲーム ・買い物ゲーム ・カーリングゲーム ・棒倒しゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄
3月	野外活動 ・菜の花観賞(たつの市) ・ひな飾り見学(たつの市・鹿ヶ壺) ゲーム大会	レクリエーション ・かっぱ積みゲーム 体操 ・リンゴの唄・北国の春

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生日会 カレンダー作り 身体測定(毎月) 体力測定(3ヶ月毎) 音楽交流会 (第一興商) 作品展示会 (イーグレ姫路)	ちぎり絵 カラオケ 塗り絵 将棋 麻雀 囲碁 編み物 作品作り 習字教室	野外活動 リズム体操 歩行訓練 マット運動 ボール体操 ゴムチューブ運動 下肢筋力トレーニング ゲーム大会

法人研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師（職・氏名）
介護技術研修	楽ワザセミナー：介護の基本、寝返り、起き上がり、移乗介助技術について（講習及び実技）	全職員	16名	6月2、27、30日	ケアプロデュースRX組 代表 青山幸広氏
産業医研修	健康診断結果の総評、生活習慣病について	全職種	2名	6月28日	産業医 久保精一郎氏
接遇研修	介護職員のビジネスマナー、介護職員のマナーについて	全職員	16名	7月10、11日 8月7日	株式会社ニッソナーネット 教務主任 青野桂子氏
安全運転研修	福祉車両、安全運転自己診断、事故を起こさないための心得、ビデオ診断講評、自損事故の現状、突撃による死角体感について	該当職員	3名	8月20、21日 9月5、20日	大阪ガスオートサービス 安心運転 転コンサルタント 吉田正信氏他
看取りケア強化研修	看取りケアの実際、死の受容プロセス、家族の気持ちと必要な対応、チームケア、介護者のあり方について	看護職員 介護職員	3名	9月10、12、14日	株式会社ニッソナーネット 舟木つるる氏
介護技術（ロボット）研修	ノーリフティングケア、日本の介護環境の現状、福祉機器の利活用、役割と心構え、実技について	全職員	16名	11月7、16、19日	特別養護老人ホーム いやさか苑 施設長 田上優佳氏
職員倫理研修	身体拘束、拘束が及ぼす弊害と悪循環、身体拘束禁止11項目、緊急やむを得ない場合の対応、介護の質、人権擁護と倫理について	全職種	16名	11月7、16、19日	特別養護老人ホーム おかの花 施設長 小椎尾竹信氏
音楽療法研修	カラオケ機器のコンテンツ、プログラム、男性の参加率の向上方法について（講習及び実技）	機能訓練指導員 生活相談員 介護職員	15名	11月29日 12月5日 1月9日	株式会社兵庫第一興商 音楽健康指導士 村上寛奈氏

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
理念・人権研修	理念・倫理・守秘義務について	全職種	16名	4月2日	管理者・生活相談員
安全管理研修	移乗・移動について	全職種	16名	5月21日～5月23日 (内3日間)	リスクマネジメント委員
感染対策研修	食中毒について	全職種	16名	6月15日～6月25日 (内2日間)	感染委員
接遇研修	認知症ケア技法について	全職種	15名	7月26日～7月31日 (内3日間)	接遇委員
環境・安全研修	コミュニケーション技術について	全職種	15名	8月25日～9月10日 (内4日間)	環境・安全委員
感染対策研修	食中毒について	全職種	15名	9月29日～10月29日 (内3日間)	感染委員
安全管理研修	施設内における危険予知について	全職種	15名	11月27日～12月18日 (内3日間)	リスクマネジメント委員
感染対策研修	ノロウィルスの対処方法について	全職種	15名	12月27日、1月4日	感染委員
社会資源研修	社会資源(通所介護)について	全職種	15名	1月18、19日	環境・安全委員
接遇研修	スピーチロックについて	全職種	16名	3月5日～3月21日 (内3日間)	接遇委員
安全管理研修	タントのスローパー操作方法について	全職種	15名	3月19日～3月22日 (内3日間)	リスクマネジメント委員

職員の外部研修の受講状況

研 修 名	研 修 内 容	参加職種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
姫路市老人福祉施設連盟 施設員研修会	介護における人材育成について	管理者	1名	4月24日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟 新人職員研修会	福祉サービスの心構えについて	介護職員	1名	5月16日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
西播磨総合リハビリテーションセンター 疾患別リハビリ研修	脳血管障害（疾患の理解と予防）、摂食・嚥下障害 に対する支援のポイントについて	介護職員	1名	6月21日	1日間	西播磨総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
西播磨総合リハビリテーションセンター テーマ別研修（移乗編）	移乗動作、リフトや吊り具の種類・特性について	介護職員	1名	7月12日	2日間	西播磨総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会 職員研修会	ADL維持等加算に必要なBarthel Indexについて	生活相談員	1名	8月16日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟 施設長研修会	高齢者事業の施設長にお願いしたいこと、地域サ ポート施設知事認定制度について	管理者	1名	8月20日	1日間	ホテル日航姫路	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟 施設長、職員研修会	未来の介護と介護ロボットの現状について	管理者	1名	11月26日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会 職員研修会	組織を活性化するコーチングについて	管理者	1名	2月5日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟 職員研修会	ノーリフティングケアについて	介護職員	1名	2月20日	1日間	みかしほ学園	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟 職員研修会	ノーリフティングケアについて	介護職員	1名	3月20日	1日間	みかしほ学園	口頭・復命

避難訓練

実施日	訓練種目	訓練内容
4月27日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
5月8日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
6月28日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
7月21日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
8月4日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
9月21日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
10月3日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
11月27日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
12月8日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
1月4日	第二姫路・勝原ホームとの合同訓練	役割及び避難誘導手順の確認
2月2日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認
3月23日	地震による火災を想定した避難訓練	地震発生・火災時における避難誘導及び通報手順の確認

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
平成 30 年 4 月 13 日	<p>「駐車マナーについて」</p> <p>非通知と匿名希望にて、「網干区高田か和久かは分からないが段ボールを捨てる場所にやながせ福祉会と書かれた車が停めてあり、10～20 分程立ち往生した」との申出がある。</p>	<p>①迷惑をかけたことに関して、陳謝するとともに法人内で話し合い、以降は配慮していくことを説明すると理解は得られた。</p> <p>②詳細が不明のため、姫路・勝原ホームの統括事務長に内容を報告する。</p> <p>③姫路・勝原ホーム居宅介護支援事業所から「訪問時に停めていた」と連絡があり、詳細を伝え、注意喚起する。</p>
平成 30 年 5 月 11 日	<p>「入浴介助について」</p> <p>居宅介護支援事業所の介護支援専門員から「入浴時にお湯が溜まっておらず、待っている間、寒かった」と担当利用者から相談を受け、体調維持の観点から改善の申出がある。</p>	<p>①家族に連絡し、内容を確認するとともに陳謝する。</p> <p>②浴槽内の貯湯状況や温度を確認してから脱衣など入浴介助を始めることを説明する。</p> <p>③寒さを感じないように浴室の温度設定に配慮し、利用者本人に寒暖状況を尋ね、室温調整を行っていくことを説明すると理解は得られた。</p>
平成 30 年 7 月 12 日	<p>「介護予防計画書の内容について」</p> <p>利用者から先日、自宅で行ったサービス担当者会議の内容に個人的なことが書かれていたため、納得がいかず、改善してほしいとの申出がある。</p>	<p>①不快な思いを抱いたことに関して、陳謝する。</p> <p>②計画書を作成した大津地域包括支援センターの担当介護支援専門員と三者で話し合い、担当者を変更することで、理解が得られた。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 30 年 5 月 8 日	<p>「請求過誤」</p> <p>介護請求に関して、送迎減算を失念し、該当利用者に 50 円、返金する。</p>	<p>①送迎減算がある時は随時、データ入力する。</p> <p>②月末に担当介護支援専門員に実績を提出した後、請求データ生成時にも日々の実績表をもとに再度、確認をする。</p> <p>③介護給付費明細書は 2 人で確認してから国民健康保険団体連合会にデータを送信する。</p>

発生日	事故内容	事故対策
平成 30 年 7 月 1 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>駐車スペースで方向転換をした時にハイエースの右後部のバンパーが壁に当たり、損傷する。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②車幅間隔を身につけ、ミラーで後方を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③接触しそうな場合は、後退せず、前進操作を行う。</p> <p>④添乗職員が降車し、誘導する。</p>
平成 30 年 7 月 14 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>利用者の自宅前にハイエースを寄せようとしてハンドルを操作した時に、左前輪周辺がガードレールに当たり、損傷する。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②車幅間隔を身につけ、ミラーで左側面の状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③接触しそうな場合は停止し、前進や後退操作を行い、体勢を整えてから幅寄せ操作を行う。</p> <p>④添乗職員が降車し、誘導する。</p>
平成 30 年 8 月 1 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>利用者の乗車後、出発し、左折した時に利用者宅のブロック塀に左後方部分が当たり、損傷する。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②車幅間隔を身につけ、ミラーで左後方部の状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③接触しそうな場合は停止し、後退操作を行う。</p> <p>④利用者が乗車後、公用車とブロック塀の間隔を確認して、運転操作を行う。</p>
平成 30 年 9 月 15 日	<p>「公用車の脱輪によるパンク」</p> <p>道幅が狭い所で、左折した時に後輪側溝に脱輪し、パンクする。</p>	<p>①道幅の狭い交差点を曲がる時は、車から降りて、道幅と車幅、側溝などを確認してからハンドル操作を行う。</p> <p>②車幅間隔を身につけ、道幅が狭い住宅地の交差点では、ミラーで後方を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③接触しそうな場合は、前進せず、後進操作を行う。</p> <p>④添乗職員が降車し、誘導する。</p>
平成 30 年 10 月 31 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>道幅が狭い所で、対向車に道を譲ろうとして、車体を左側に寄せたところ、左後方部が電柱に当たり、損傷する。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②電柱等が死角に入る場合は、バックミラーやサイドミラーなど目視だけに頼らず、一度、停車し、車から降り、後方を確認してからハンドル操作を行う。</p> <p>③車幅間隔を身につけ、慎重に操作する。</p> <p>④添乗職員が降車し、誘導する。</p>

発生日	事故内容	事故対策
平成 30 年 12 月 5 日	<p>「被災地特例に関する過誤請求」</p> <p>7 月豪雨で被災された方の利用に関して、担当の介護支援専門員から証明書を手渡されるまで、被災地特例の適用に気づかずに 1 割負担で請求していたため、過誤請求を行い、差額を返金する。</p>	<p>①被災地からの利用者に関しては、保険者に手続きや事務処理方法を確認する。</p> <p>②被災地特例などに制度に関する学習機会を設け、理解を深める。</p> <p>③適正な事務処理を行うため、介護支援専門員と情報交換を行い、共通認識に努める。</p> <p>④不明な点がある時は、保険者に確認しながら事務処理を行う。</p>
平成 30 年 12 月 12 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>送迎終了後、玄関で添乗員を降ろし、西側の駐車場に移動しようとした時にマイクロバスも到着し、後方で待機していたため、避けようと後退操作を行ったところ、駐車場内の花壇にバンパーが当たり、損傷する。</p>	<p>①後方に他の公用車が到着した場合は、前進操作を行い、場所を譲り、安全を確保してから後退操作を行う。</p> <p>②加えて、駐車場で方向転換を行わず、建屋南側の通路で後方の安全を確認しつつ、行う。</p> <p>③車幅間隔を身につけ、バックミラーやサイドミラーで後方を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>④突発的な対応に備え、慌てず、ゆとりある運転を心がけ、ハンドル操作を行う。</p>
平成 31 年 3 月 14 日	<p>「公用車の物損」</p> <p>送迎終了後、事業所から左折し、県道に出ようとした時、対向車に気をとられ、ハンドルをきり過ぎ、左後部側面がブロック塀に当たり、損傷する。</p>	<p>①夕刻で交通量が多いことを踏まえ、心に余裕を持った運転を心がけ、ハンドル操作を行う。</p> <p>②左右を確認して、安全と判断してから県道に出る。</p> <p>③車幅間隔を身につけ、ミラーで左後方を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>④接触しそうな場合は、前進せず、後退操作を行う。</p> <p>⑤交通量が多く、自動車の往来が途切れない場合は、事業所内にいる他職員に誘導を依頼し、安全な状況で県道に出る。</p>